



いおぎ
だより

令和5年11月号

杉並区立井荻小学校

令和5年10月31日発行 No.676

学芸会を終えて ほんのり心に残るもの…

校長 田中 裕次

校庭の金木犀が咲き誇り、馨しい香りに秋の深まりを一層感じるこの頃です。

学芸会には保護者の皆様、地域の皆様、たくさんのご参観をいただきましたこと御礼申し上げます。激励の言葉と拍手に包まれた子供たちはとても誇らしい笑顔であふれていました。

実は練習からが学芸会実施には多くの課題がありました。

一つは健康管理です。世の中のインフルエンザの流行同様に井荻小でも猛威を振りました。週が明ける度に学級の半数近くの子供たちの発熱で、お休みが続きました。学級閉鎖は順繰りに6学級。学校の1割以上が休むという日がありました。一人ひとりが役割を担う劇作りで誰かがいない状況は、進行が進まないことを意味しています。どの学年も前後のセリフを覚えたり、係の仕事も兼務したりしながら、助け合い、支え合いながら取り組みました。代表委員会が各学級から学芸会への思いを持ち寄り、紡いでできた学芸会テーマ「楽しく心を一つに感動の花をさかせよう」を一人ひとりが体現していました。

もう一つの問題は「学芸会の積み重ねがないこと」でした。コロナ禍で大きな行事ができない状況が続きました。学芸会に至っては6年ぶりです。4,5,6年生にとってこの学芸会が小学校での最初で最後の学芸会でした。スポットライトを浴びての演技は相当の緊張を要したことでしょう。児童だけではなく教職員も井荻小の学芸会経験がな

い人ばかりでした。もちろん他校では学芸会の経験があっても、場所が違えば様々な懸案事項が出てきます。会場設営、児童の入退場など見えにくい細部について全体で話し合い、検討し、準備しました。教職員も「心を一つに」学芸会で子供たちの花が咲き誇れるように取り組みました。

学芸会には正にスポットライトが当たる眩い表舞台と誰にも気づかれない裏の世界があります。大道具の作成や移動させていた子、スポットライトのタイミングを合わせて当てていた子、ポスターを作って町の掲示板に張らせてくださいとお願いをしに行った子…。見えないところで様々なドラマがありました。子供たちは学年の発達段階に応じて、縁の下の力持ちについても学んでいます。何より劇作りという一つの大きな行事を学年みんなで作り上げる充実感を味わうことができました。

社会ではSDGs(持続可能な開発目標)達成の一つとして、人々の多様性を受け入れる社会が求められています。「学芸会だから頑張らせる」は、これからの教育ではありません。学芸会に消極的であった子もいます。異なる特性や特徴、違いを受け止めながら、話し合いを重ね、できることを自分で見出し、がんばる。学校生活はこの連続です。私たち教師は、そんな子供たち一人ひとりを丁寧に見守り、がんばる姿を応援、支援していく。そのことを再確認した学芸会でした。

子供たちにとってほんのりと温かく、心の中に残る学芸会であつたら幸いです…。

11月行事予定

1	水	就学時健診 4時間授業	
2	木	安全指導 小児生活習慣病予防検診(5・6年)	
3	金	文化の日	
4	土	土曜クラブ(井草囃子)	
5	日		
6	月	委員会活動	
7	火	日本舞踊鑑賞(5・6年) 情報モラル	SC
8	水	4時間授業	
9	木	児童集会 移動教室事前検診(6年)	
10	金	たてわり班活動	
11	土	土曜クラブ(囲碁・テニス)	
12	日		
13	月	弓ヶ浜移動教室(6年)	
14	火		SC
15	水		★
16	木	運動委員会集会 実験・ものづくり教室(5年)	
17	金	実験・ものづくり教室(5年)	
18	土	土曜クラブ(お箏・いけばな)	
19	日		
20	月	避難訓練 長縄チャレンジ(30日まで)	
21	火		SC
22	水	4時間授業 読み聞かせ 秋の歯科検診(全) CS(学校運営協議会)	
23	木	勤労感謝の日	
24	金		
25	土	土曜クラブ(囲碁・チャレンジキッズ(編むクラブ))	
26	日		
27	月	5時間授業 読書旬間始まり	
28	火		SC
29	水	華道体験(6年)	
30	木	たてわり班活動	

CS…学校運営協議会

SC…スクールカウンセラー来校日

★…給食費 引き落とし日

11月の生活目標

「ことばを大切にしましょう」

生活指導部 武内 宏介

私は、高校時代野球部に所属し、甲子園を目指し日々練習を重ねていました。しかし、いざ試合となると、不安や緊張が強くなってしまふものです。そんなとき、味方からもらう大きな声援が自分の力となり、驚くような力を発揮することができたことを、今でも鮮明に覚えています。日常の生活の中でも、「ありがとう」「助かった」「大丈夫」など、感謝されたことや励まされたこと、そんな嬉しかった場面にはいつも「言葉」がありました。苦しいときやつらいときには、人生の中でもらったたくさんの大切な言葉を思い出し、「今日も頑張ろう」と心を奮い立たせます。

人は誰かに言われた一言によって元気になったり、温かい気持ちになったり、その一言を大切に一生を生きていく人もいますと私は考えます。言葉には大きな力があります。だからこそ、使う言葉を大切にしていきたいと思っています。

11月の生活目標は、「ことばを大切にしましょう」です。集団生活の場である学校では、多くの人と関わりながら生活をしていきます。言葉の大切さについて改めて考えさせ、よりよい学校生活を送れるよう、見守っていきます。

学校運営協議会(通称CS コミュニティスクールの略)

学校運営協議会は、原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。

【連絡先：副校長 小瀧 3390-3141】



マスコットキャラクター
イオギン